

第2回 e - テキスタイル 研究会

- 日時：2010年8月6日（金）13:30～17:10
- 場所：京都工芸繊維大学 60周年記念館 〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町1
- 主催：日本繊維機械学会 (<http://www.soc.nii.ac.jp/tmsj/japan/>)
- 参加費：本研究会会員は無料、一般会員は5000円



挨拶 木村照夫氏（日本繊維機械学会 会長）

講演

- 13:35～15:00 戸田真志氏（公立ほこだて未来大学 システム情報科学部）

導電性布素材を利用したウェアラブル情報基盤の実現とその応用

「着る」ことに違和感のないコンピュータシステムの実現のためには、服飾技術／繊維技術と情報科学との統合が不可欠である。講演者らは、これらを支える技術として導電性布素材に注目し、布素材を利用した情報基盤の確立を目指して、布給電、布通信、布センサ等を提案してきている。本講演では、これらの詳細と今後の展開について紹介する。

- 15:10～16:10 奥林里子氏（京都工芸繊維大学大学院 先端ファイブロ科学部門）

超臨界流体を用いた導電性高分子材料の開発

e- テキスタイルに不可欠な導電性繊維の開発について、有機金属錯体と繊維などの高分子材料を超臨界二酸化炭素中で処理し、無電解めっきや水素還元などの後処理をすることで、剥離強度の高い金属薄膜を形成する技術について紹介する。

- 16:10～17:10 篠原一光氏（大阪大学大学院 人間科学研究科）

ウェアラブル機器とヒューマンエラー防止

我々は行動する中で様々なエラーをしてしまうが、ウェアラブル機器を利用することでエラー発生をある程度抑制できるかもしれない。本講演では人間の心理特性をふまえ、エラー防止のためにウェアラブル機器をどう利用すべきかを論じる。

名刺交換会 17:30～ 参加費：2,000円

研究会および名刺交換会 参加申込先：

「e- テキスタイル研究会（第2回）研究例会」と明記し、①氏名、②所属、③連絡先（電話番号、FAX番号、E-mail アドレス）、④会員種別を記入の上、下記宛お申込ください。

e- テキスタイル研究会 幹事 桑原教彰 E-mail: nkuwah@kit.ac.jp